

# 安全データシート (SDS)

作成・改訂日 2010年4月1日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 ケンエー燃料用アルコール  
 会社名 健栄製薬株式会社  
 住所 大阪府中央区伏見町2丁目5番8号  
 担当部門 学術情報部  
 電話番号 06(6231)5822  
 FAX 番号 06(6204)0750  
 連絡先 健栄製薬株式会社 学術情報部

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

#### 【物理化学的危険性】

火薬類	: 分類対象外	自然発火性液体	: 区分外
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外	自然発火性固体	: 区分外
可燃性・引火性エアゾール	: 分類対象外	自己発熱性化学品	: 区分外
支燃性・酸化性ガス	: 分類対象外	水反応可燃性化学品	: 区分外
高压ガス	: 分類対象外	酸化性液体	: 区分外
引火性液体	: 区分2	酸化性固体	: 区分外
可燃性固体	: 分類対象外	有機過酸化物	: 区分外
自己反応性化学品	: 分類対象外	金属腐食性物質	: 区分外

#### 【健康に対する有害性】

急性毒性 (経口)	: 区分5	皮膚感作性	: 区分外
急性毒性 (経皮)	: 区分外	生殖細胞変異原性	: 区分1A
急性毒性 (吸入・ガス)	: 分類対象外	発がん性	: 区分外
急性毒性 (吸入・蒸気)	: 区分外	生殖毒性	: 区分1A
急性毒性 (吸入・粉塵)	: 分類対象外	特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	
急性毒性 (吸入・ミスト)	: 区分外		: 区分1 中枢神経系、視覚器、全身毒性
皮膚腐食性・刺激性	: 区分外		区分3 気道刺激性、麻酔作用
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	
	: 区分2A		: 区分1 肝臓、中枢神経系、視覚器
呼吸器感作性	: 区分外		区分2 神経系
		吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

#### 【環境に対する有害性】

水生環境急性有害性 : 区分外  
 水生環境慢性有害性 : 区分外

## GHS ラベル要素

## 【絵表示又はシンボル】



## 【注意喚起語】

危険

## 【危険有害性情報】

引火性の高い液体及び蒸気  
飲み込むと有害のおそれ（経口）  
強い眼刺激  
遺伝性疾患のおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
肝臓、中枢神経系、全身毒性、神経系、視覚器の障害  
眠気及びめまいのおそれ  
呼吸器への刺激のおそれ  
長期又は反復暴露による臓器の障害  
気道への刺激のおそれ

## 【注意書き】

## [安全対策]

すべての安全注意をよく読み理解するまで取り扱わないこと。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。  
静電気放電及び火花による引火を防止すること。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。  
個人用保護具や換気装置を使用し、暴露をさけること。  
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
屋外または換気の良いところでのみ使用すること。  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

## [救急措置]

火災の場合、粉末消火剤、耐アルコール性消火剤、二酸化炭素などを用いて消火すること。  
吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。  
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚（又は毛髪）に付着した場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱いで、取り除くこと。  
暴露又はその懸念がある場合、目の刺激が持続する場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い時は医師の診断、手当を受けること。  
飲み込んだ場合、直ちに医師の診断、手当を受けること。

**[保管]**

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

**[廃棄]**

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

**[その他の注意]**

容器から出すときは、こぼさないこと。

本品を追加注入する場合、必ず火を完全に消した後、安全を確認の上、注入すること。

子供の手の届かない所に保管すること。

本品は、燃料用として製造しており、それ以外には使用しないこと。

**【国／地域情報】**

国内法で規定のある場合、並びに地域で規定のある場合はその規定に従うこと。

**3. 組成、成分情報**

単一製品・混合物の区別	: 混合物 液体	
	メタノール	76.60%
	エタノール	21.40%
	イソプロピルアルコール	0.30%
	水分	1.70%

メタノール 100%としての情報

化学名又は一般名	: メタノール	Methanol
別名	: メチルアルコール 木精	Methyl alcohol Wood alcohol
化学特性 (化学式)	: CH <sub>3</sub> OH	
CAS番号	: 67-56-1	
官報公示整理番号		
化審法	: (2)-201	
安衛法	:	
国連番号	: 1230	
濃度	: 76.60%	

エタノール 100%としての情報

化学名又は一般名	: エタノール	Ethanol
別名	: エチルアルコール、酒精	Ethyl alcohol
化学特性 (化学式)	: C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH	
CAS番号	: 64-17-5	
官報公示整理番号		
化審法	: (2)-202	
安衛法	:	
国連番号	: 1170	
濃度	: 21.40%	

---

 イソプロピルアルコール100%としての情報

化学名又は一般名	: 2-プロパノール	2-Propanol
別名	: イソプロピルアルコール	Isopropyl alcohol
化学特性 (化学式)	: $\text{CH}_3\text{CH}(\text{OH})\text{CH}_3$	
CAS番号	: 67-63-0	
官報公示整理番号		
化審法	: (2)-207	
安衛法	: 2-(8)-319	
国連番号	: 1219	
濃度	: 0.30%	

---

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 製品の浸潤した衣類を直ちに脱がせること。  
適温の穏やかな流水により、15分間以上洗浄すること。  
皮膚刺激があれば、医師の診断、手当を受けること。  
脱いだ衣服を再使用する前に洗濯し汚染除去をすること。  
気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合 : 豊富な清浄水で最低15分間注意深く洗浄すること。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、更に数分間洗浄すること。  
この製品が目に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。不十分であると不可逆的な目の損傷を生ずるおそれがある。  
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄すること。  
吐かせないこと。  
気分が悪いときは、医師の診断を受けること。  
意識がないときは直ちに医師の手当てを受けること。
- 予想される急性症状 : 高濃度の暴露では眼、鼻、喉に刺激を引き起こす。
- 及び遅発性症状 : 眼に対する暴露では、発赤、痛みを起す恐れがある。  
皮膚に触れると、皮膚の乾燥を引き起こす。  
吸入すると、咳、頭痛、疲労感、し眠を引き起こす。  
飲み込むと、頭痛、錯乱、めまい、意識喪失を引き起こす。
- 最も重要な徴候及び症状 : 情報なし。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状は遅れて発現することがあり、過剰に暴露したときは、医学的な経過観察が必要である。  
救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
- 

#### 5. 災害時の措置

- 消火剤 : 小火災 : 二酸化炭素、散水、粉末消火剤、耐アルコール性消火剤  
大火災 : 散水、噴霧水、耐アルコール性消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 特有の危険有害性 : 極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。
-

	<p>加熱により容器が破損、爆発するおそれがある。</p> <p>火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。</p> <p>引火性の高い液体及び蒸気。</p>
特有の消火方法	<p>: 初期の火災には、散水、噴霧水又は粉末、二酸化炭素の消火剤による消火を行う。</p> <p>大規模火災には、泡（耐アルコール泡）消火剤を用いて空気を遮断する。散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。</p> <p>危険でなければ火災区域から容器を移動する。</p> <p>容器の移動が不可能な場合、容器および周囲に散水して冷却する。</p> <p>消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。</p>
消火を行う者の保護	<p>: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。</p> <p>風上から消火する。</p>

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	<p>: 関係者以外の立ち入りを禁止する。</p> <p>状況に応じて保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用し、当該物の眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。</p> <p>漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。</p> <p>直ちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。</p> <p>漏洩しても周辺で火災が発生していない場合、密閉性の高い不浸透性の保護衣を着用する。</p> <p>風上に留まる。</p> <p>低地から離れる。</p> <p>密閉された場所に入る前に換気する。</p>
環境に対する注意事項	<p>: 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。</p> <p>河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。</p>
回収・中和	<p>: 少量の場合：乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収し後で廃棄処理する。吸収したものを集めるときは、清潔な帯電防止工具を用いる。</p> <p>大量の場合：盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。散水は蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を押さえることが出来ないおそれがある。</p>
封じ込め及び浄化の方法・機材	<p>: 危険でなければ漏れを止める。</p> <p>漏出物を扱うときに用いる全ての設備は接地する。</p> <p>蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。</p>
二次災害の防止策	<p>: 全ての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火災の禁止）。</p> <p>排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。</p>

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 【取扱い】

技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、換気に注意する。
	液の漏洩や発散を極力防止する。
安全取扱い注意事項	: 全ての安全注意を読み終えるまで取り扱わないこと。
	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

眼に入れないこと。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

### 【保管】

技術的対策 : 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、且つ、はりを不燃材料で造ること。  
保管場所は屋根を不燃材料で造るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、且つ天井を設けないこと。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は、浸透しない構造とすること。

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱う為に必要な採光、照明及び換気の設備を設けること。

保管場所は、耐火構造、床は不浸透性のものとし、地下への浸透、外部への流出を防止すること。

保管条件 : 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。ー禁煙  
冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。

可燃物及び製造業者が指定する他の禁忌物質から離して貯蔵すること。

容器は密栓し、直射日光や火気を避けること。

その他消防法に従うこと。

施錠して貯蔵すること。

混触危険物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規（危険物輸送に関する勧告）で規定されている容器を使用すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

メタノール

管理濃度 : 200ppm

許容濃度

日本産業衛生学会(2006) : 200ppm (260mg/m<sup>3</sup>)

ACGIH(2007) : TLV-TWA 200ppm TLV-STEL 250ppm

エタノール

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会(2006) : 設定されていない

ACGIH(2007) : TLV-TWA 1,000ppm

イソプロピルアルコール

管理濃度 : 200ppm

許容濃度

日本産業衛生学会(2006) : 400ppm (980mg/m<sup>3</sup>)

ACGIH(2007) : TLV-TWA 200ppm TLV-STEL 400ppm

設備対策

: 防爆の電気、換気、照明機器を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

---

**保護具**

呼吸器の保護具	: 適切な呼吸器保護具（防毒マスク（有機ガス用）高濃度の場合、送気マスク空気呼吸器）を着用すること。
手の保護具	: 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
眼の保護具	: 適切な眼の保護具（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）及び顔面用保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 保護長靴、耐油性（不浸透性・静電気防止対策用）前掛け、防護服（静電気防止対策用）等の保護具を着用すること。
衛生対策	: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。 取扱後はよく手を洗うこと。

---

**9. 物理的及び化学的性質**
**混合物としての情報**

物理的状態、形状、色など	: 無色透明の液体
臭い	: アルコール臭
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 66°C～75°C
引火点	: 12.9°C
爆発範囲	: データなし（参考値：下限 2vol%（IPA）、上限 44vol%（MT））
蒸気圧	: 51100Pa(20°C)
蒸気密度（空気=1）	: データなし
比重（密度）	: 0.796g/cm <sup>3</sup> (20°C)
溶解度	: 水と任意に混合
オクタノール/水分配係数	: データなし（参考値：logPow=-0.30(ET)）
自然発火温度	: 450°C
分解温度	: データなし
蒸発速度（酢酸ブチル=1）	: データなし
粘度	: データなし

**エタノール 100%としての情報**

性状	: 無色透明液体
臭い	: 特有の芳香
pH	: 該当せず
融点・凝固点	: -114.5°C（融点）
沸点または初留点	: 78.32°C（101.325kPa）
引火点	: 13°C（密閉式）
爆発範囲	: 下限 3.3vol%、上限 19.0vol%（空气中）
蒸気圧	: 5.878kPa（20°C）
蒸気密度	: 1.59
比重（密度）	: 0.78493g/cm <sup>3</sup> （25°C）
溶解度	: 水、エーテルによく溶ける
O/W	: logPow=-0.30
自然発火温度	: 439°C
分解温度	: データなし
蒸発速度	: データなし
粘度	: データなし

---

## メタノール 100%としての情報

性状	: 無色液体
臭い	: 特徴的な臭気
pH	: データなし
融点・凝固点	: -98°C (融点)
沸点または初留点	: 65°C (沸点)
引火点	: 12°C (密閉式)
爆発範囲	: 下限 5.5vol%、上限 44vol%
蒸気圧	: 12.3kPa (20°C)
蒸気密度	: 2.1
比重 (密度)	: 0.7915 (20°C/4°C)
溶解度	: 可溶 (水)、エタノール、エーテル、ベンゼンに可溶
O/W	: logPow=-0.82/-0.66
自然発火温度	: 464°C
分解温度	: データなし
蒸発速度	: データなし
粘度	: 0.61mPa・s (20°C)

## イソプロピルアルコール 100%としての情報

性状	: 無色液体
臭い	: 刺すような臭い
pH	: データなし
融点・凝固点	: -90°C (融点)
沸点または初留点	: 83°C (沸点)
引火点	: 11.7°C (密閉式)
爆発範囲	: 下限 2vol%、上限 12vol% (空气中)
蒸気圧	: 4.4kPa (20°C)
蒸気密度	: 2.1
比重 (密度)	: 0.78505 (20°C/4°C)
溶解度	: 1000g/L (水)
O/W	: logPow=0.05
自然発火温度	: 456°C
分解温度	: データなし
蒸発速度	: データなし
粘度	: 2.37mPa・s (20°C)

**10. 安定性及び反応性**

## 混合物としての情報

安定性	: 通常の場合においては、安定である。
危険有害反応可能性	: 酸化剤と激しく反応し、火災、爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	: 高温への暴露
混触危険物質	: 強酸化剤、過酸化水素 (MT)
危険有害な分解生成物	: 加水分解により一酸化炭素、ホルムアルデヒドを生じる。(MT)

## エタノール 100%としての情報

安定性	: 通常の場合においては安定であり、危険有害な分解生成物は発生
-----	---------------------------------

	しない。
危険有害反応可能性	: 硝酸、硝酸銀、硝酸水銀、過塩素酸マグネシウムなどの強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。
避けるべき条件	: 高温への暴露
混触危険物質	: 強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、アンモニア
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素

#### メタノール 100%としての情報

安定性	: 通常の場合においては、安定である。
危険有害反応可能性	: 酸化剤と激しく反応し、火災、爆発の危険をもたらす。 過酸化水素と混触したものは、衝撃により爆発する。
避けるべき条件	: 加熱
混触危険物質	: 酸化剤、過酸化水素
危険有害な分解生成物	: 加水分解により一酸化炭素、ホルムアルデヒドを生じる。

#### イソプロピルアルコール 100%としての情報

安定性	: 通常の場合においては、安定である。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険性をもたらす。 高温においてアルミニウムを腐食する。
避けるべき条件	: 高温
混触危険物質	: 強酸化剤、強アルカリ
危険有害な分解生成物	: 火災時の燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などの有害ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

メタノール濃度=76.6%

エタノール濃度=21.4%

イソプロピルアルコール濃度=0.3%

急性毒性 : 経口 : メタノール : LD50=2500 (区分5より推定)

エタノール : LD50=∞ (分類が区分外であるため)

イソプロピルアルコール: LD50=3437

尚、区分外の変換値については明確な値が定義されていないため、無限大として扱っている。

加算方式の計算式

$100 / (\text{判定対象製品の毒性値}) = (\text{各成分の濃度} / \text{各成分の毒性値})$  の合計より得られた毒性推定値 LD50=3254.4365 が 5000 以下であるため、区分5とした。

: 経皮 : メタノール : LD50=15800

エタノール : LD50=不明

イソプロピルアルコール: LD50=4059

尚、区分外の変換値については明確な値が定義されていないため、無限大として扱っている。

加算方式の計算式

$(100 - \text{毒性値不明の成分の濃度合計}) / (\text{判定対象製品の毒性値}) = (\text{各成分の濃度} / \text{各成分の毒性値})$  の合計より得られた毒性推定値 LD50=15969.0822 が 5000

より大きいため、区分外とした。

- : 吸入 (気体) : メタノール : LC50=∞ (分類が区分外であるため)、  
 エタノール : LC50=∞ (分類が区分外であるため)  
 イソプロピルアルコール : LC50=∞ (分類が区分外であるため)  
 尚、区分外の変換値については明確な値が定義されていないため、無  
 限大として扱っている。

加算方式の計算式

$100 / (\text{判定対象製品の毒性値}) = (\text{各成分の濃度} / \text{各成分の毒性値})$  の合計よ  
 り得られた毒性推定値 LC50=∞が 5000 より大きいため、区分外とした。

- : 吸入 (蒸気) : メタノール : LC50=∞ (分類が区分外であるため)、  
 エタノール : LC50=∞ (分類が区分外であるため)  
 イソプロピルアルコール : LC50=72865  
 尚、区分外の変換値については明確な値が定義されていないため、無限大と  
 して扱っている。

加算方式の計算式

$100 / (\text{判定対象製品の毒性値}) = (\text{各成分の濃度} / \text{各成分の毒性値})$  の合計よ  
 り得られた毒性推定値 LC50=24288333.3333 が 50 より大きいため、区分外と  
 した。

- : 吸入 (粉塵およびミスト) : メタノール : LC50= 不明  
 エタノール : LC50=∞ (分類が区分外であるため)  
 イソプロピルアルコール : LC50= 不明  
 尚、区分外の変換値については明確な値が定義されていないため、無限大と  
 して扱っている。

加算方式の計算式

$(100 - \text{毒性値不明の成分の濃度合計}) / (\text{判定対象製品の毒性値}) = (\text{各成分の濃度} / \text{各成分の毒性値})$  の合計より得られた毒性推定値 LC50=∞が 12.5 より  
 大きいため、区分外とした。

皮膚腐食性・刺激性 : メタノール : 分類できない

エタノール : 区分外

イソプロピルアルコール : 区分外

区分1の濃度の合計 : 0%

区分2の濃度の合計 : 0%

区分3の濃度の合計 : 0%

加成性 : 判定8「(区分1の成分の濃度合計) ×10 + (区分2の成分の濃度合計)  
 + (区分3の成分の濃度合計) が10%以上」を満たさない。

以上の条件の何れも満たさなかったため、区分外とした。

眼に対する重篤な損傷 : メタノール : 区分2A

・眼刺激性

エタノール : 区分2A

イソプロピルアルコール : 区分2A

区分1の濃度の合計 : 0%

区分2Aの濃度の合計 : 98.3%

区分2Bの濃度の合計 : 0%

加成性 : 判定6「(眼刺激性区分2Aの成分の濃度合計) が10%以上」を満たす。

	以上より区分 2A とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:メタノール:分類できない エタノール:分類できない イソプロピルアルコール:分類できない 呼吸器感作性をもつ成分のうち、固体/液体のカットオフ値 0.1%以上含まれている成分が無いため区分外とした。 皮膚感作性をもつ成分のうち、カットオフ値 0.1%以上含まれている成分が無いため区分外とした。
生殖細胞変異原性	:メタノール:区分外 エタノール:区分 1B イソプロピルアルコール:区分外 区分 1 に分類される成分がカットオフ値 0.1%以上含まれているため、区分 1B とした。
発がん性	:メタノール:分類できない エタノール:区分外 イソプロピルアルコール:区分外 発がん性をもつ成分のうち、濃度 0.1%以上 (区分 1) もしくは 0.1%以上 (区分 2) 含まれる成分が無いため区分外とした。
生殖毒性	:メタノール:区分 1B エタノール:区分 1A イソプロピルアルコール:区分 2 区分 1 に分類される成分がカットオフ値 0.1%以上含まれるため、またエタノールの大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されており、区分 1A とした。
特定標的臓器・全身毒性	
単回暴露	:メタノール:区分 1 (視覚器、全身毒性、中枢神経系)、区分 3 (気道刺激性、麻酔作用) エタノール:区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)、 イソプロピルアルコール:区分 1 (腎臓、全身毒性、中枢神経系)、区分 3 (気道刺激性) 区分 1 に該当する以下の成分が 10%以上含まれているため、区分 1 に分類できる。 メタノール:区分 1 (視覚器、全身毒性、中枢神経系) 区分 3 に該当する以下の成分が 20%以上含まれているため、区分 3 に分類できる。 メタノール:区分 3 (気道刺激性、麻酔作用) エタノール:区分 3 (気道刺激性、麻酔作用) 分類判定結果 区分 1 (視覚器、全身毒性、中枢神経系) 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
反復暴露	:メタノール:区分 1 (視覚器、中枢神経系) エタノール:区分 1 (肝臓)、区分 2 (神経) イソプロピルアルコール:区分 2 (肝臓、血管、脾臓) 区分 1 に該当する以下の成分が 1%以上含まれているため、区分 1 に分類できる。 メタノール:区分 1 (視覚器、中枢神経系)

---

	エタノール：区分1（肝臓）
	区分2に該当する以下の成分が1%以上含まれているため、区分2に分類できる。
	エタノール：区分2（神経）
	分類判定結果
	区分1（肝臓、視覚器、中枢神経系）
	区分2（神経）
吸引性呼吸器有害性	: データなし
略記の説明	TCL0 ; Toxic Concentration Low. 報告されている毒性の最低の濃度
	TDL0 ; Toxic Dose Low. 報告されている毒性を示す最低の量
	LC50 ; Lethal Concentration Fifty. 一定時間で対象集団の50%が死亡すると推定される濃度
	LDL0 ; Lethal Dose Low. 報告された最低の致死量
	LD50 ; Lethal Dose Fifty. 被検集団の50%が死亡すると推定される採取量

---

## 12. 環境影響情報

メタノール濃度=76.6%

エタノール濃度=21.4%

イソプロピルアルコール濃度=0.3%

水生環境急性有害性 : メタノール：区分外、LC50=900.73、EC50=不明

エタノール：区分外、LC50=5463.9、EC50=不明

イソプロピルアルコール：区分外、LC50=不明、EC50=不明

区分1の濃度の合計：0%

区分1の濃度の合計：0% 毒性乗率による換算値

区分2の濃度の合計：0%

区分3の濃度の合計：0%

カットオフ2「(区分1の成分の濃度合計) ×10 + (区分2の成分の濃度合計) が25%以上」を満たさない。

カットオフ3「(区分1の成分の濃度合計) ×100 + (区分2の成分の濃度合計) ×10 + (区分3の成分の濃度合計) が25%以上」を満たさない。

以上の条件の何れも満たさなかったため、区分外とした。(加算式)

水生環境慢性有害性 : メタノール：区分外、LC50=不明、EC50=不明

エタノール：区分外、LC50=不明、EC50=不明

イソプロピルアルコール：区分外、LC50=不明、EC50=不明

区分1の濃度の合計：0%

区分1の濃度の合計：0% 毒性乗率による換算値

区分2の濃度の合計：0%

区分3の濃度の合計：0%

区分4の濃度の合計：0%

カットオフ2「(M×区分1の成分の濃度合計) ×10 + (区分2の成分の濃度合計) が25%以上」を満たさない。

カットオフ3「(M×区分1の成分の濃度合計) ×100 + (区分2の成分の濃度合計) ×10 + (区分3の成分の濃度合計) が25%以上」を満たさない。

カットオフ4「(区分1の成分の濃度合計) + (区分2の成分の濃度合計) + (区

分3の成分の濃度合計) + (区分4の成分の濃度合計) が25%以上」を満たさない。

以上の条件の何れも満たさなかったため、区分外とした。(加算式)

残留性/分解性	: メタノール、エタノール並びにイソプロピルアルコールにおいて情報なし。
生体蓄積性	: メタノール、エタノール並びにイソプロピルアルコールにおいて情報なし。
土壌中の移動性	: メタノール、エタノール並びにイソプロピルアルコールにおいて情報なし。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 特別管理産業廃棄物(廃油)に該当する可能性がある。この場合廃棄においては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。
汚染容器・包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
その他	: 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項による。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

国連分類	: 3
国連番号	: 1263
容器等級 (UN Packing Group)	: II
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 国際民間航空機関危険物輸送規制 (JCAO) に従う。

#### 国内規制

陸上規制情報	: 消防法の規定に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
海洋汚染物質	: 非該当
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
特別の安全対策	: 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。 危険物の運搬中危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止する為応急措置を講ずると共に最寄りの消防機関その他の関係機関に通報すること。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による。

---

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称を通知すべき有害物 名称等を表示すべき有害物 (メタノール、イソプロピルアルコール) 危険物・引火性のもの (有機則) 第2種有機溶剤等 (労働安全衛生法施行令 第6条22号) 作業環境測定法: 該当 (メタノール、イソプロピルアルコール)
消防法	: 第四類引火性液体、アルコール類 水溶性 危険等級II
船舶安全法	: 引火性液体類 (危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	: 引火性液体 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	: 引火性液体類 (法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二ホ)
海洋汚染防止法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当
輸出貿易管理令	: 該当 (別表第1 16項 記載の貨物 (キャッチオール規制) 対象物質)
産業廃棄物処理法	: 特別管理産業廃棄物 (廃油)
大気汚染防止法	: 有害物質含有 (メタノール)
水質汚濁防止法	: 非該当
土壌汚染防止法	: 非該当
道路法	: 該当 (車両の通行の制限)
化学物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律	: 非該当

---

## 16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。

---